

提 案 の 概 要

施設名：名古屋市東生涯学習センター

団体名：アクティオ株式会社

(1) 管理運営全般について

①施設の管理運営に対する方針等

<基本方針>

誰もが気軽に生涯学習に親しめる新たな地域コミュニティ拠点の構築を私たちが実践

<基本方針を実現する考え方>

場（文化・環境）の理解を深め、地域全体のウェルビーイング向上につなげる。
実施策の取組み方針として以下の3つを掲げる。

1. 若年層の生涯学習活動の推進～自己実現のきっかけになる生涯学習体験～
2. 多文化共生・国際理解等、多様な生涯学習を通じた地域課題の解決
3. 東区の地域と連携して“私たち”が学び合う

②管理運営体制

<組織・人員の配置・体制>

区分	人数
総括管理責任者	1人
副総括管理責任者	2人
従事員	6人

- ・打合せ、各種調整、外出など必要に応じて、出勤人数を調整する。
- ・イベント開催時には十分な人員配置を行い、安全・安心な管理運営体制を構築する。

<人材育成方針>

- ・安定した施設運営に加え、施設の付加価値を向上させていく人材育成のための研修を行う。
- ・社会教育、生涯学習、地域などについて学ぶ機会を積極的につくり、生涯学習センター設置目的の達成に資する人材の育成を行う。

<市民の平等利用に関する考え方>

- ・各種法令・条例を遵守した上で、公正・公平な利用ルールを策定し、市民や利用者に分かりやすく提示する。

- ・ユニバーサルデザインの考え方を取り入れ、各種研修などにより多様な来館者に向けた対応力を高め、合理的配慮の提供を実施する。

＜災害時の危機管理体制及び事故発生時の対応方針＞

- ・利用者の安全確保を最優先として、日ごろから未然防止策の実施、緊急時対応の明確化、防災教育・訓練、マニュアルの策定と随時更新を行う。
- ・災害などの緊急事態発生時には総括管理責任者を危機管理責任者として、関係各所との連絡体制を構築し、初期対応など迅速な対応を行う。
- ・会社としても危機管理対策本部を組織し、必要な体制（職員の派遣等）をとるよう指示する。
- ・地域の防災訓練への参加や、施設の防災訓練に地域住民に参加してもらうなど、地域社会と連携し、緊急時にお互い連携できる関係性を日頃から構築し、「共助による減災」を図る。

＜施設修繕・保守点検計画＞

- ・故障前に保全対応する「予防保全」と従来型修繕「事後保全」を併用し、利用者への影響を最小限にとどめ、修繕費の抑制・コストパフォーマンスの最大化を図る維持管理を行う。
- ・豊富な実績を持つ再委託先と連携し、設備の重要度に基づき優先度を設定した修繕計画や施設の長寿命化を目指した効果的な保守点検計画を策定する。
- ・再委託先、総括管理責任者、施設担当が定期的な会議体を設け、スピーディで確実な施設管理を行う。

（２）実施業務の計画について

①指定管理業務

＜利用者意見の聴取・反映方法＞

- ・利用者意見は、利用者との直接的なコミュニケーション、各種アンケート、SNS への反応の収集など複数の手段で行う。
- ・収集した意見は、様々な角度から分析・検証した上で必要に応じて業務に反映する。またその対応については、館内掲示等により可能な限り公表する。

＜利用促進策（PR策）＞

- ・ホームページ、施設情報紙、チラシ・ポスター、プレスリリースなど、ターゲットに応じた様々な情報媒体を併用し、広報活動を行う。
- ・特に、若年層の利用促進が課題となっているため、SNS の活用を重視し、SNS 担当の職員を育成して効果的な情報発信を行う。
- ・ロビーを活用し、地域の中学生を対象としたボランティア事業、自主学習グループとの交流機会の創出を行い、利用促進を図る。
- ・ビジネスパーソンや学生向けに夜間講座の開催や利用モデルチラシの作成など従来利用が少なかった層にアピールを行う。
- ・利用料の安さを企業等にも積極的にPRし、利用率向上を図る。

＜地域連携・ボランティア連携＞

- ・名古屋市内での業務を通して培った多様なネットワークに加え、地域住民・団体・機関・施設等と講座・生涯学習センターまつりなどの事業で積極的な連携を図り、施設価値の向上や地域振興を図る。
- ・自主学習グループなどとは生涯学習に知見のある者が中心となって、意見交換会の実施、各団体への活動支援などにより連携体制を構築し、「生涯学習の振興」「市民の交流」「地域活動の発展」の好循環をつくる。

②自主事業

＜基本の休館日、開館時間外の施設の使用＞

- ・現在の第2水曜日の開館は踏襲。新たに祝日を午後9時まで開館とする。

＜講座・教室等の実施＞

- ・下記の3つの実施策の取組み方針に基づき、地域の居場所づくり、若年層の自己表現、多世代交流、国際理解の醸成、社会的包摂、地域コミュニティの醸成、東区らしさの再発見など、様々な地域の課題に対応した講座・教室を実施する。

【実施策の取組み方針】

1. 若年層の生涯学習活動の推進～自己実現のきっかけになる生涯学習体験～
2. 多文化共生・国際理解等、多様な生涯学習を通じた地域課題の解決
3. 東区の地域と連携して“私たち”が学び合う

＜自動販売機等物販＞

- ・飲料自販機を現行のものと同規模で設置する。館内でよりくつろいでもらうため、挽きたての豆からドリップするタイプのコーヒー専用自動販売機を導入する。

＜その他指定管理者による提案＞

- ・区民まつりや夏祭りなどに生涯学習センターとしてアウトリーチ活動を行い、イベントの賑わい創出と共に、施設のPRを行う。

(3) 収支計画について

①管理運営にかかる費用等

<年度ごとの指定管理料の提案額>

(単位：千円)

区分	金額
令和7年度	32,235
令和8年度	31,644
令和9年度	31,782
令和10年度	32,083
令和11年度	32,294

<年度ごとの収支計画>

【管理運営経費】

(単位：千円)

区分	金額
令和7年度	47,564
令和8年度	47,239
令和9年度	47,652
令和10年度	48,066
令和11年度	48,425

【利用料金収入等】

(単位：千円)

区分	金額
令和7年度	15,229
令和8年度	15,485
令和9年度	15,749
令和10年度	15,853
令和11年度	15,990

【自主事業からの充当額】

(単位：千円)

区分	金額
令和7年度	101
令和8年度	110
令和9年度	121
令和10年度	131
令和11年度	141

<経費削減の取組み>

- ・総括管理責任者及び施設担当が定期的にミーティングを行い、予実管理を確実に行う。
- ・マルチワーク体制による効率的な管理運営や、こまめな省エネルギーへの取組み、DIYによる修繕などにより、経費の縮減に努める。
- ・スケールメリットを活かしたリース・保険などの一括契約による経費縮減を行う。

※端数処理の都合上、指定管理料の提案額と、収支計画が一致しない場合がある。